

## 最近の管内経済概況

(2025年5月の経済指標を中心として)

～ 緩やかに持ち直している ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、横ばい傾向。
- 個人消費は、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している。
- 観光は、改善が続いている。
- 公共工事は、増加した。
- 住宅建設は、弱まっている。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、弱含んでいる。
- 企業倒産は、件数、負債総額とも減少した。

全体として、管内経済は、緩やかに持ち直している。

なお、先行きについては、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

2025年7月18日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局  
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : bz1-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

# 管内経済概況判断の推移

(2025年7月現在)

| 発 表 月       | 2025年2月                     | 3月                                   | 4月                        | 5月                        | 6月                        | 7月                        | 前月との判断比較 |
|-------------|-----------------------------|--------------------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|----------|
| 総 括 判 断     | 一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している | <u>緩やかに持ち直している</u> (↗)               | 緩やかに持ち直している               | 緩やかに持ち直している               | 緩やかに持ち直している               | 緩やかに持ち直している               | ➡        |
| 生 産 活 動     | 持ち直しの兆しがみられる                | 持ち直しの兆しがみられる                         | 持ち直しの兆しがみられる              | 持ち直しの兆しがみられる              | <u>横ばい傾向</u> (↔)          | 横ばい傾向                     | ➡        |
| 個 人 消 費     | 改善の動きに足踏みがみられる              | <u>一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している</u> (↗) | 一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している | 一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している | 一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している | 一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している | ➡        |
| 観 光         | 改善している                      | <u>改善が続いている</u> (↗)                  | 改善が続いている                  | 改善が続いている                  | 改善が続いている                  | 改善が続いている                  | ➡        |
| 公 共 工 事     | 増加した                        | 増加した                                 | <u>減少した</u> (↘)           | 減少した                      | <u>増加した</u> (↗)           | 増加した                      | ➡        |
| 住 宅 建 設     | 持ち直しの兆しがみられる                | 持ち直しの兆しがみられる                         | 持ち直しの兆しがみられる              | 持ち直しの兆しがみられる              | 持ち直しの兆しがみられる              | <u>弱まっている</u> (↘)         | ⬇        |
| 民 間 設 備 投 資 | 増加している                      | 増加している                               | 増加している                    | 増加している                    | <u>減少している</u> (↘)         | <u>増加している</u> (↗)         | ↗        |
| 雇 用 動 向     | 弱含んでいる                      | 弱含んでいる                               | 弱含んでいる                    | 弱含んでいる                    | 弱含んでいる                    | 弱含んでいる                    | ➡        |
| 企 業 倒 産     | 件数、負債総額とも減少した               | 件数、負債総額とも減少した                        | 件数、負債総額とも増加した             | 件数、負債総額とも減少した             | 件数、負債総額とも増加した             | 件数、負債総額とも減少した             | ↗        |

※下線部は、前月から判断を変更した部分。↗ 上方修正 ➡ 据え置き ⬇ 下方修正

# 生産活動 ～ 横ばい傾向 ～

5月の鉱工業生産は、前月比+3.9%と2か月ぶりに上昇した。前年同月比は▲5.2%と4か月連続で低下した。上昇業種は、輸送機械工業など7業種となった。低下業種は、窯業・土石製品工業など6業種となった。

<5月>

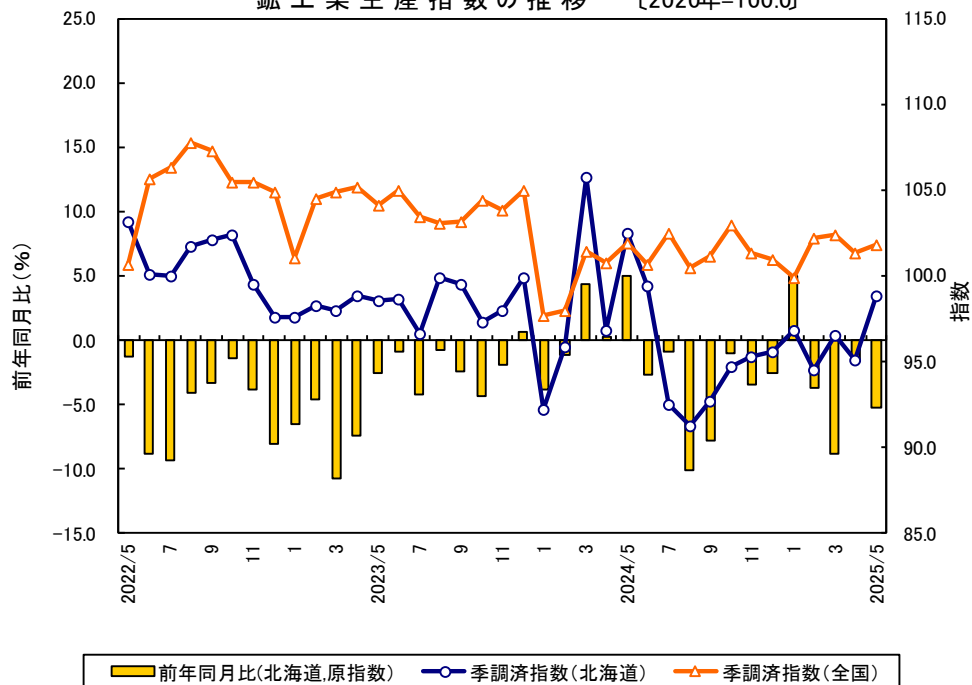
季節調整済指数

北海道（速報） 98.8（前月比+ 3.9%）

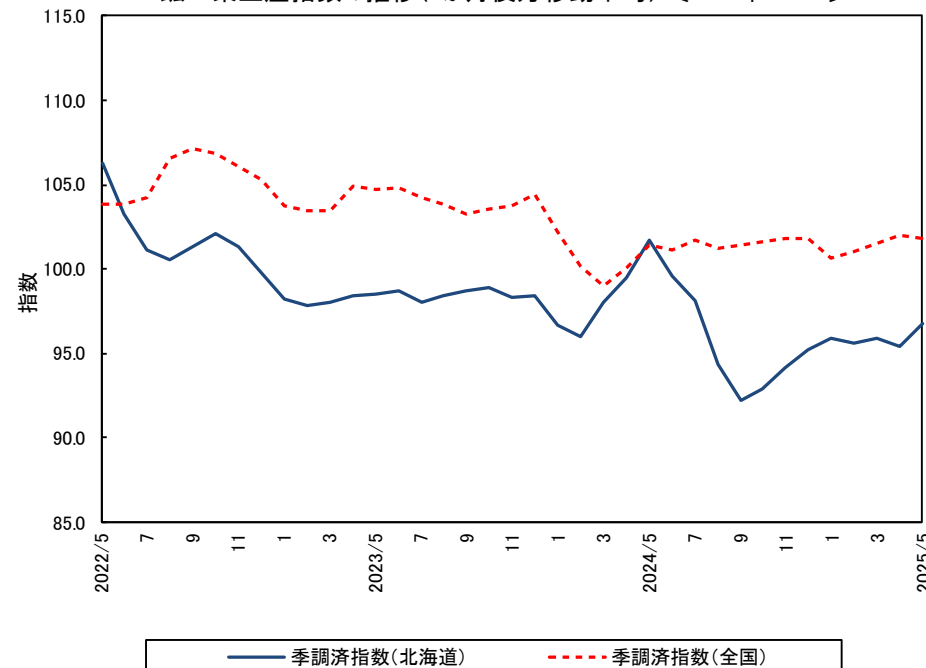
全 国（速報） 101.8（前月比+ 0.5%）

|           | 業 種         | 前月比<br>(%) | 前年同<br>月比(%) | 主な品目      |
|-----------|-------------|------------|--------------|-----------|
| 上昇<br>7業種 | 輸送機械工業      | + 17.4     | + 0.3        | 自動車部品     |
|           | 化学・石油石炭製品工業 | + 9.6      | ▲ 10.4       | 化学・石油石炭製品 |
|           | 電気機械工業      | + 9.5      | ▲ 7.0        | 電子部品      |
| 低下<br>6業種 | 窯業・土石製品工業   | ▲ 13.3     | ▲ 6.5        | セメント・同製品  |

鉱工業生産指数の推移 [2020年=100.0]



鉱工業生産指数の推移(3か月後方移動平均) [2020年=100.0]



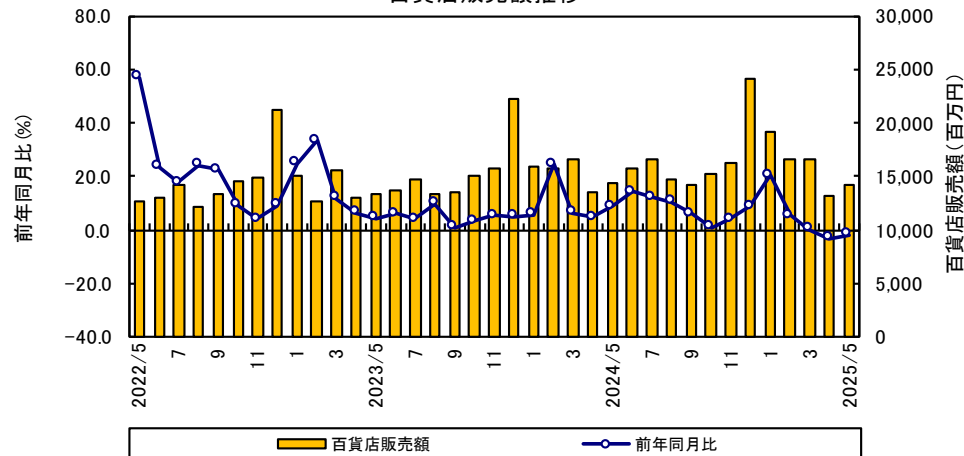
(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

# 個人消費 ～ 一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している ～

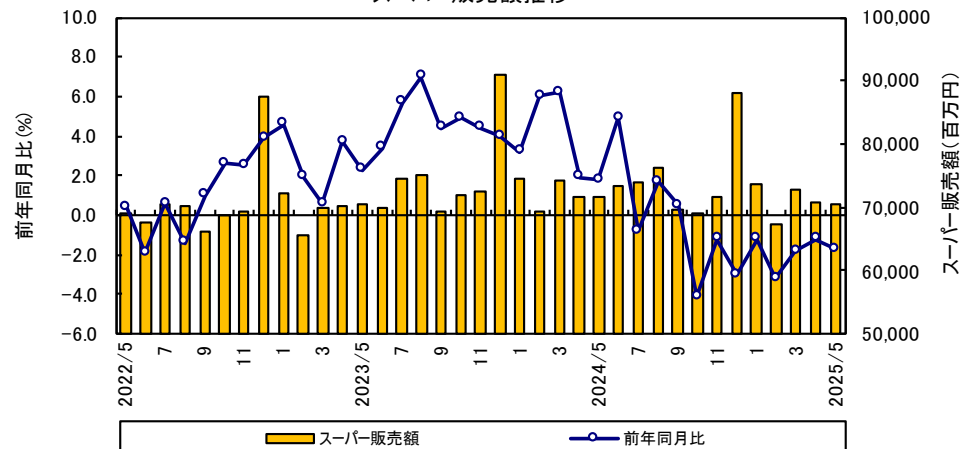
5月の個人消費は、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンターが前年を上回り、他の4業態は前年を下回った。

- ・百貨店は、高級ブランドの商品の売上げが落ち込み、前年同月比▲1.7%と2か月連続で前年を下回った。
- ・スーパーは、買上点数の減少などから、同▲1.7%と8か月連続で前年を下回った。
- ・コンビニエンスストアは、同+3.8%と8か月連続で前年を上回った。

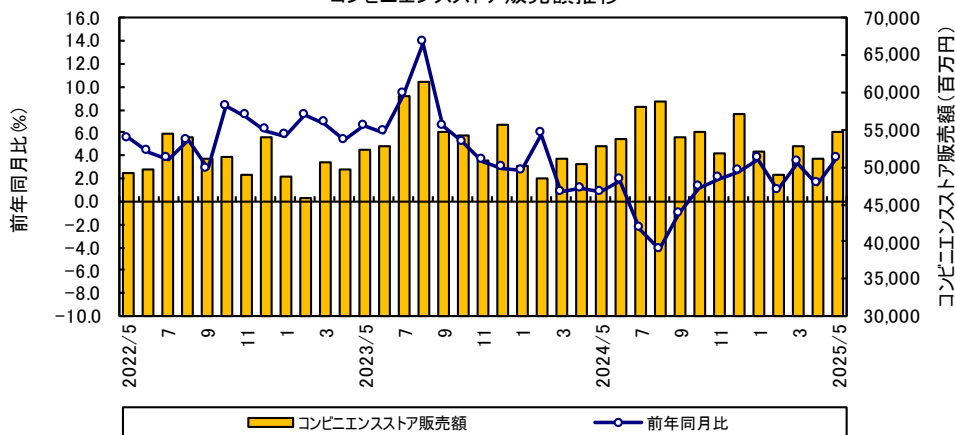
百貨店販売額推移



スーパー販売額推移



コンビニエンスストア販売額推移

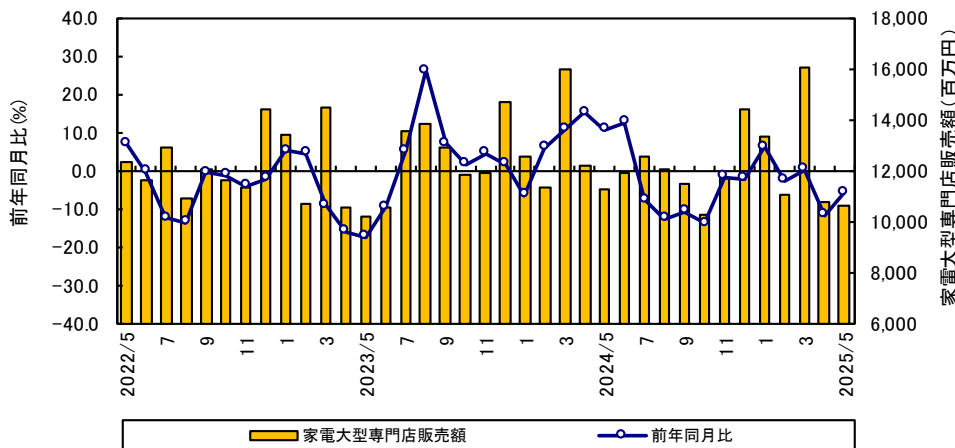


## 【ヒアリング内容】

- ・円高傾向が続いているほか、売上げが伸長した前年の反動もありインバウンド客による高級ブランドの商品の売上げが減少し、前年を下回った。一方で、5月中旬以降気温が上昇したことからリネンや麻素材のブラウスなどの初夏物衣料が売れた。(百貨店)
- ・値上げの影響により低価格帯の商品への移行が引き続きみられた。また、米は値上げにより売上げが伸びた一方で、価格が高騰していることから、販売点数は減少した。(スーパー)
- ・節約志向による買上点数の減少がみられたものの、5月中旬以降気温が上昇したことから飲料や冷たい麺類、アイスなどが好調で、前年を上回った。(コンビニエンスストア)

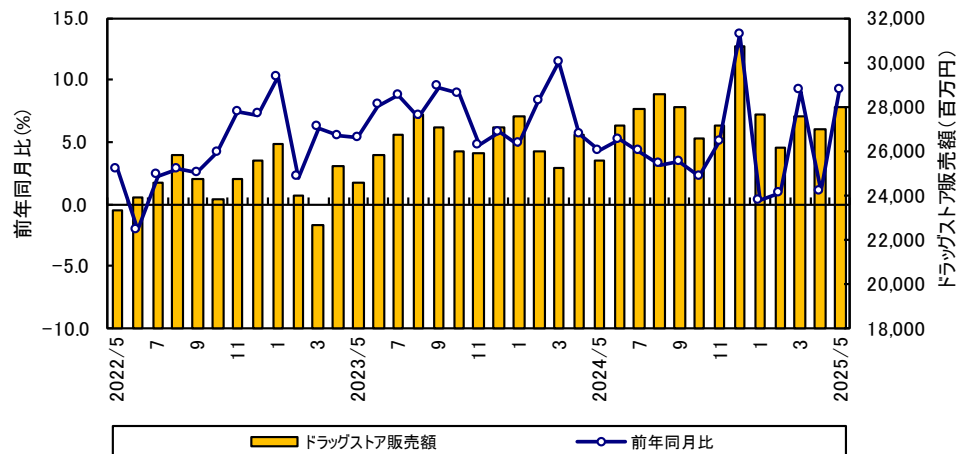
- ・家電大型専門店は、同▲5.7%と2か月連続で前年を下回った。ドラッグストアは、同+9.2%と35か月連続で前年を上回った。
- ・ホームセンターは、同+2.9%と8か月ぶりに前年を上回った。
- ・新車販売は、同▲0.1%と5か月ぶりに前年を下回った。

家電大型専門店販売額推移



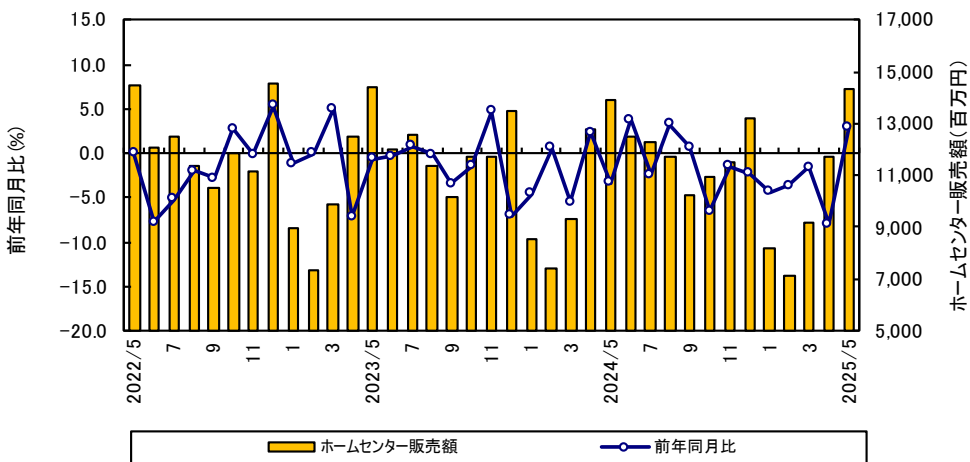
(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

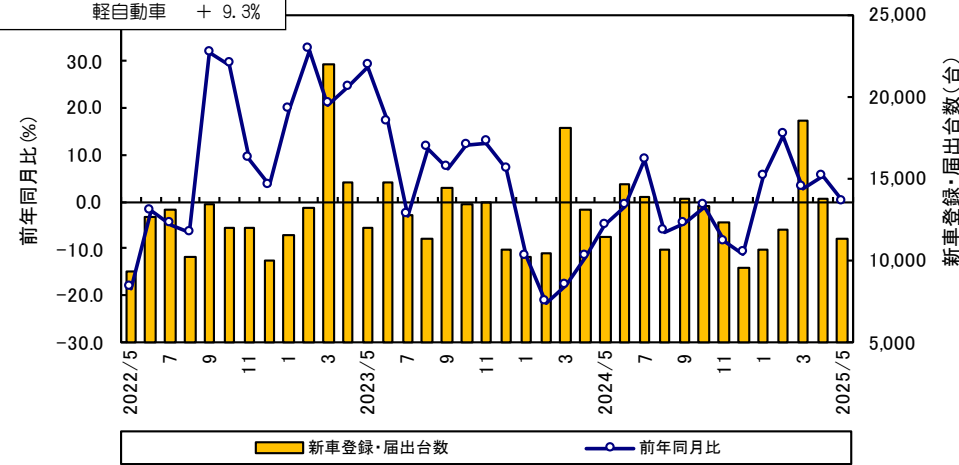
ホームセンター販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

<5月> 普通乗用車 ▲ 5.0%  
小型乗用車 ▲ 2.9%  
軽自動車 + 9.3%

新車登録・届出台数推移



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

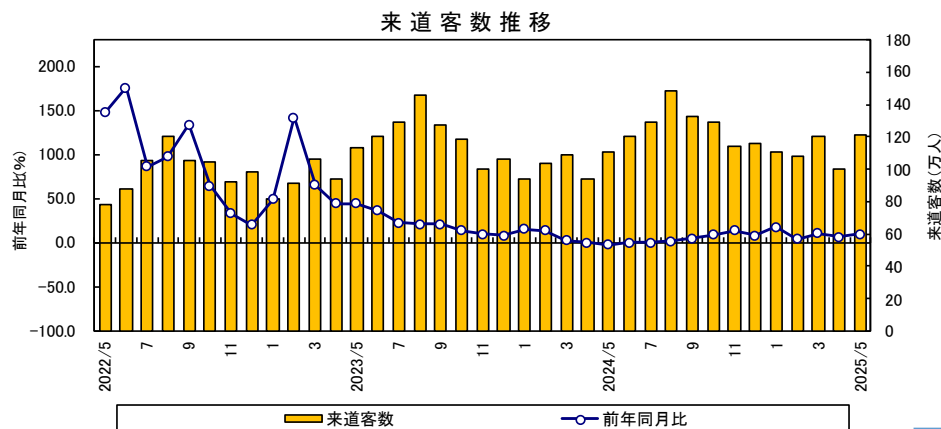
#### 【ヒアリング内容】

- ・スマートフォンやパソコンは好調だったものの、前年売上げをけん引していたエアコンの反動減が引き続きみられ、前年を下回った。（家電大型専門店）
- ・アジアンコスメが好調だった。また、都市部にある店舗が売上げをけん引し、前年を上回った。（ドラッグストア）
- ・節約志向による買上点数の減少がみられたものの、5月中旬以降気温が上昇したことから、園芸用品や塗料など屋外で使用する商品が好調で、前年を上回った。（ホームセンター）

# 観光 ～ 改善が続いている ～

5月の来道客数は、前年同月比+9.5%と12か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、同+15.0%と35か月連続で前年を上回った。

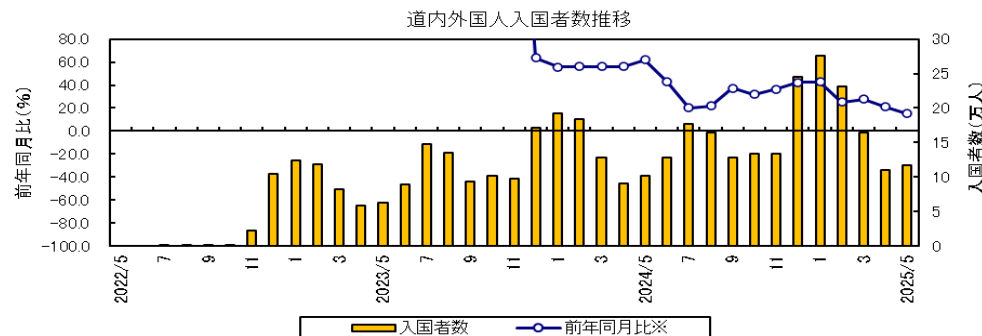
<5月> 入国者数 117,109人(+15.0%)



<5月> 来道客数 1,215,611人(+9.5%)

※北海道外から航空機(国内線)、JR(北海道新幹線)、フェリーを利用して来道した旅客数。  
※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光機構)

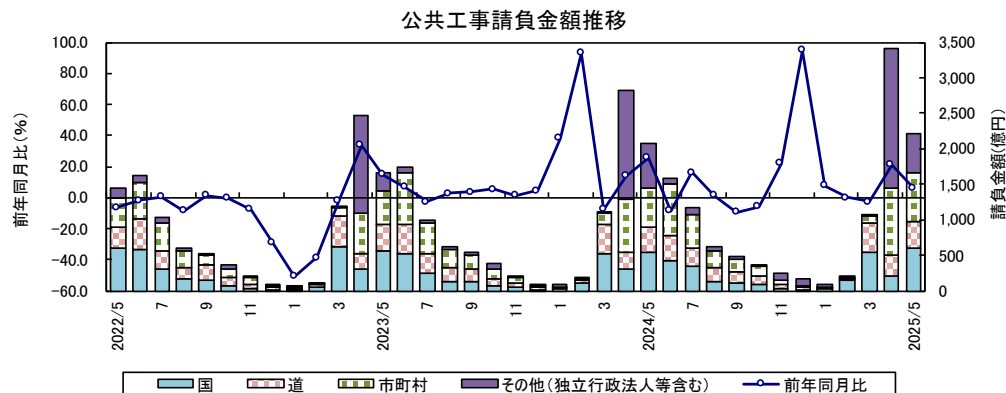


(資料：法務省) ※2022/7及び9、2023/4及び7～11の前年同月比は著しく増加したため、便宜上表示していない。

・大型連休後半は天候にも恵まれ、観光客数も回復した。例年より桜の開花が早く見頃の期間が長くなった。(観光協会)

# 公共工事 ～ 増加した ～

5月の公共工事請負金額は、その他は前年を下回ったが、国、道、市町村は前年を上回り、前年同月比+6.2%と2か月連続で前年を上回った。



<5月>

北海道 +6.2%

(内訳)

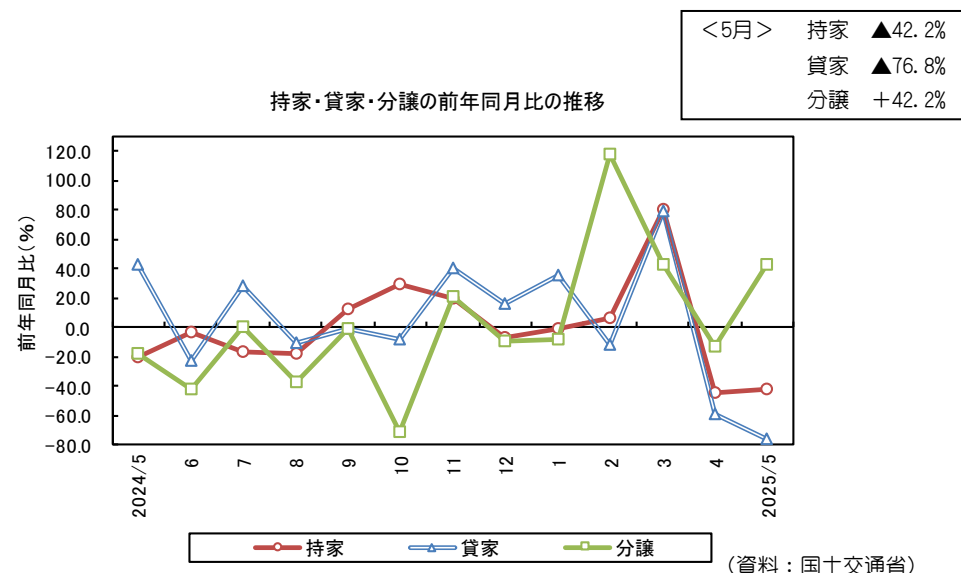
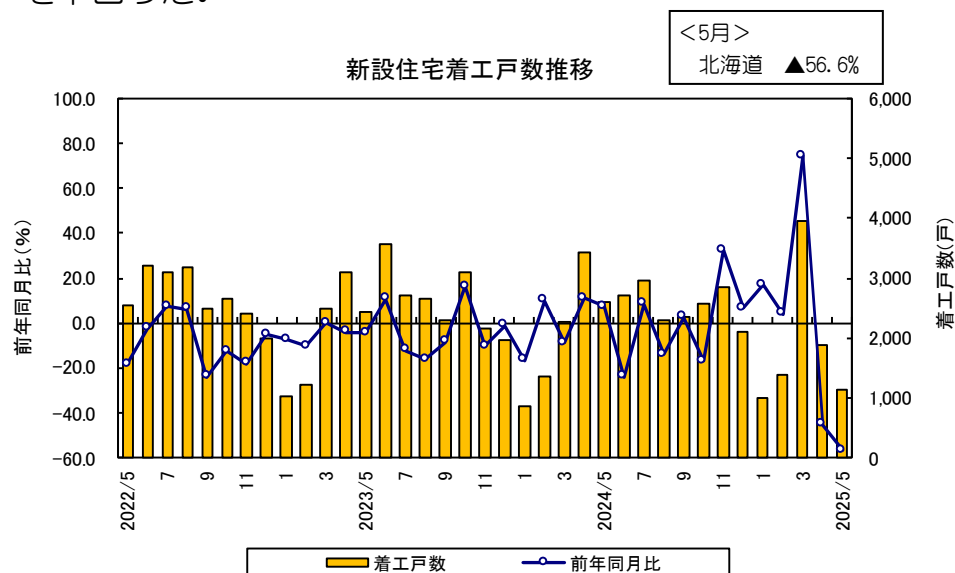
国 +11.4% 道 +0.2% 市町村 +28.2% その他 ▲13.5%

※請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

# 住宅建設 ～ 弱まっている ～

5月の新設住宅着工戸数は、分譲は前年を上回ったが、持家、貸家で前年を下回り、前年同月比▲56.6%と2か月連続で前年を下回った。



# 民間設備投資 ～ 増加している ～

2025年度の設備投資計画は、全体で前年度比+8.9%と4年連続で前年度を上回った。

日銀短観の設備投資動向

2025年7月1日発表

|      | 2024年度  | 2025年度  |
|------|---------|---------|
| 北海道  | + 6.5%  | + 8.9%  |
| 製造業  | + 10.0% | + 17.0% |
| 非製造業 | + 4.9%  | + 5.0%  |
| 全国   | + 7.5%  | + 6.7%  |

※土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

※北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2025年6月12日発表

|      | 2024年度  | 2025年度  |
|------|---------|---------|
| 全産業  | + 16.5% | + 22.7% |
| 製造業  | + 19.6% | + 21.4% |
| 非製造業 | + 15.2% | + 23.3% |

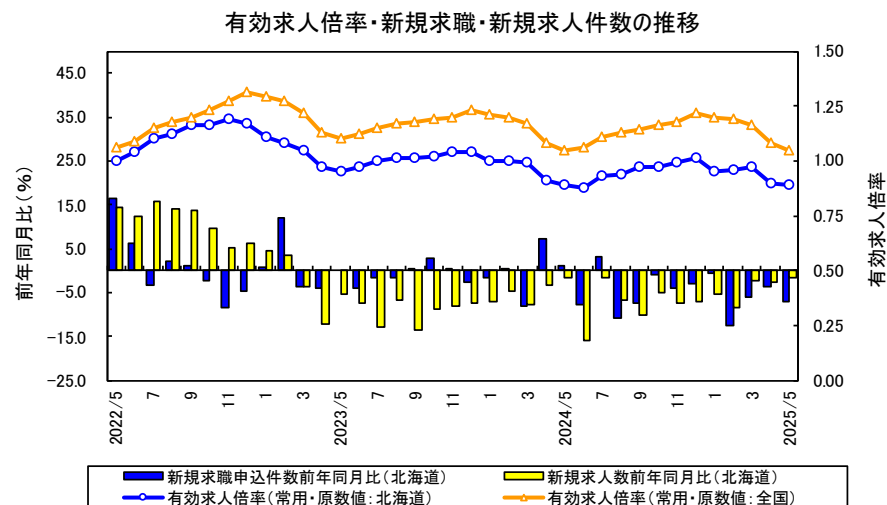
※数値は対前年比増減率。

※ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

# 雇用動向 ～ 弱含んでいる ～

5月の有効求人倍率は、0.89倍と前年同月と同水準となった。



<5月>

北海道

有効求人倍率(常用・原数値) 0.89倍

新規求職人数(前年同月比) ▲ 1.7%

新規求職申込件数(前年同月比) ▲ 6.9%

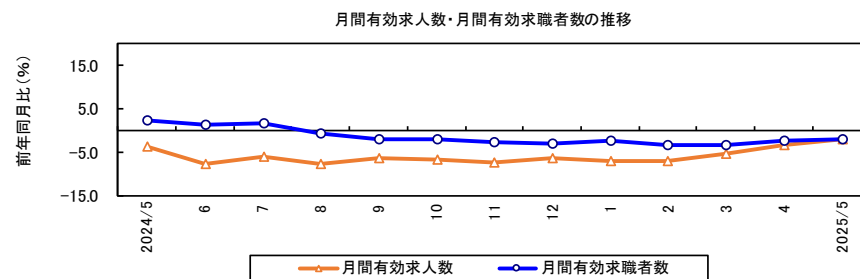
全 国

有効求人倍率(常用・原数値) 1.05倍

<5月>

月間有効求職人数(前年同月比) ▲ 2.0%

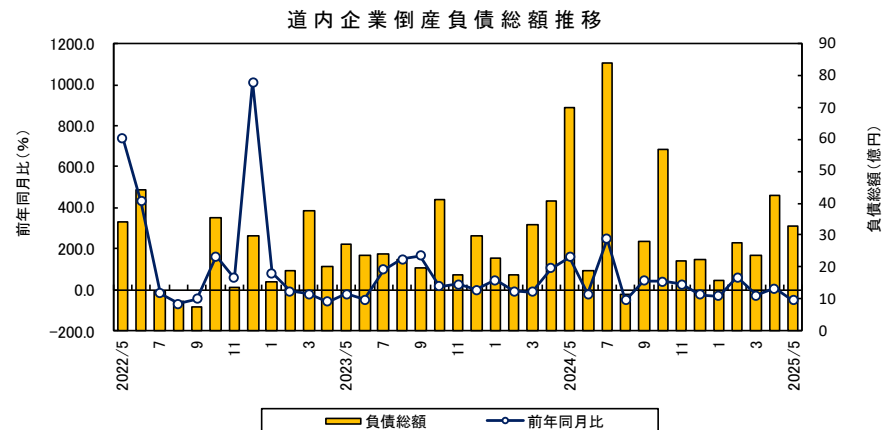
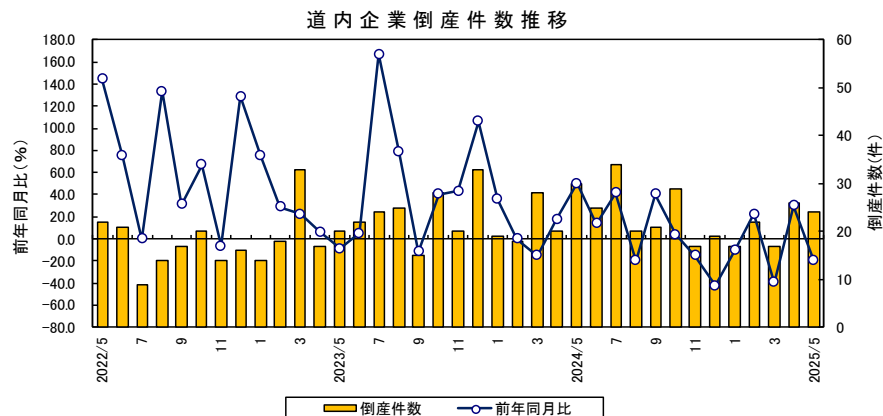
月間有効求職者数(前年同月比) ▲ 2.1%



(資料: 厚生労働省、北海道労働局)

# 企業倒産 ～ 件数、負債総額とも減少した ～

5月の倒産件数は24件で、前年同月比▲20.0% (6件減) と2か月ぶりに前年を下回った。また、負債総額は33.0億円で、同▲52.8%と2か月ぶりに前年を下回った。



(資料: (株)東京商工リサーチ)